

タイトル	“届けよう、服のチカラ”プロジェクト
名称（学校・地域）	須坂市立井上小学校
日時・場所等	10月3日～11月18日
ホームページアドレス	http://www.inoue-school.ed.jp/

“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

1, はじめに

この活動は、ユニクロがUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とのパートナーシップのもと取り組む全商品リサイクル活動の一環として、教育機関と連携して実施している学習活動です。本校の子どもたちに世界の人々のために自分たちができることがあること、それを実行する力が自分たちにあることを感じて欲しかったので、このプロジェクトに応募しました。



2, 出前授業を受けて

7月4日に、お二人のユニクロ社員が本校に見えられて、4～6年生を対象にプロジェクトについてのお話をしてくださいました。

(1)服のもつチカラとは？

服には「命を守るチカラ」がある。「人が人らしく生きるチカラ」がある。

(2)難民とは？

わたしたちの知らない世界には、食べるものや着るもの、そして住む場所も十分持てないまま避難生活を余儀なくされている子どもたちがたくさんいる。自分と同じ歳の子どもたちが内線や紛争のために今までの幸せな生活が突然奪われてしまった。

(3)活動の流れについて

集める服は、ユニクロの服じゃなくてもOK、サイズは赤ちゃんの服から160cmまで、下着以外の服であれば冬服でも夏服でもOK。(靴下、帽子、小物類はNG)

自分が着られなくなった服の行方について関心のまっただけななかった子どもたちにとって、その服が、世界のどこかで困っている子どもたちの役に立つんだという事実を知らされた時に、自分でも困っている人の役に立つことができるかもという気持ちに持つことができました。

3, 回収して

10月3日より集め始め11月18日に終了しました。集まった服の数は928枚です。この活動を通して、世界の人々のために貢献できることはもとより、身近な「服」を通して、自分たちが世界とつながっていること、世界の人々とつながることができることを実感を持って学ぶことができたと思います。

